

多文化都市八戸推進事業補助金の審査方法について

平成 31 年度多文化都市八戸推進事業補助金要領第 8 条において、「申請のあった対象事業の選定に当たっては、多文化都市八戸推進懇談会が、別に定める審査基準に基づき審査を行うこととする。」と規定されています。その審査方法について、協議するものです。

(1) 補助金の目的

多様で特色ある市民の自主的な文化活動による、まちの魅力創造を図るため、先駆的・実験的・創造的な文化芸術活動に対して、交付します。

(2) 補助金の額

上限 100,000 円

※対象経費：外部アーティスト等出演料、企画料、消耗品購入費、通信運搬費、印刷製本費、賃借料、保険料、広告料、著作権使用料、会場使用料等

(3) 審査基準

- ①先駆性：八戸市においてさきがけとなる文化芸術活動であるか
- ②実験性：新しい現象を生み出すものであるか
- ③独創性：団体や地域の特徴を生かすなど、個性的な内容であるか
- ④実現性：実現可能な事業であるか
- ⑤発展性：従来の団体の事業を発展させ、新たな展開につながる事業であるか
- ⑥計画性：事業の目的、内容、規模、体制が明確かつ適切であり企画・運営能力があるか
- ⑦公益性：市民に広く公開されるなど、不特定多数の人々の利益につながる事業であるか

(4) 審査方法について（書類審査）

A 案：懇談会委員全員で審査を行う

B 案：懇談会委員の中から会長が指名した委員で構成する「多文化都市八戸推進事業補助金審査ワーキング会議」において、審査を行う

参考：交付実績（※31 年度は交付決定額）

年度	事業名称 (実施者)	事業内容	日時	場所	入場者(参加者)数	交付額
30	アフリカンデイ (アフリカ文化研究会)	・アフリカドラム・ダンスのワークショップ及びアフリカンバンドによるライブを行う。 ・西アフリカの伝統文化である音楽・ダンスを通じ、新たな表現方法や日本の文化との交流・親善を図る。	9/2	小中野公民館、ONE DROP	40人	100,000円
	伝統芸能の時間 (チーム邦楽の時間)	・登録有形文化財である「新むつ旅館」を舞台に、落語・長唄・舞踊を披露する。 ・日本の伝統文化・芸能の発展・継承や新たな文化活動へつなげることを目的とする。	6/24	新むつ旅館	140人	100,000円
	えんぶり彩時記発刊 (たかなな俳句会)	・国重要無形民俗文化財である八戸えんぶりを詠んだ句のみを集めた句集を発刊する。 ・句のみならず、えんぶりの写真や解説も掲載し、俳句文化の隆盛と伝統文化である八戸えんぶりのさらなる周知や継承に資することを目的とする。	7/7～12/31	たかなな発行所 他		100,000円
	アーティスト・イン・レジデンス 2018-港をつなぐ (AIR-H)	・八戸港と姉妹港であるフリピン・マニラからアーティストを招き、リサーチ・制作・ワークショップ等を実施する。 ・海外アーティストとの交流や創作活動を通じ、中高生や大学生をはじめ市民による文化的活動の機運醸成を図る。	6/1～3/31	南郷地区廃校、八戸工業大学、はっち 他	440人	100,000円
	NANGO JAZZ CONNECT Vol.2 (ジャズネット実行委員会)	・県外からの来訪ミュージシャンと地元ミュージシャンとの対談、共演、ジャズセッションによる交流会を実施する。 ・来訪ミュージシャンとの交流により、表現の可能性の拡大を図り、新たなアイデアや価値観の創出に寄与する。	10/20～10/28	ジャズの館南郷	60人	100,000円
31	言葉シリーズPartⅢ～言葉は 呪文の様に～	・「対位法」をテーマに、この技法で作曲された曲を鑑賞する。 ・「人間の声と類似する音」の実験映像を解説しながらコンサートを進めて行き、壮大な音楽から引き出される喜びを通して、人々の調和団結する素晴らしさを促す。	10/22	八戸市公民館ホール	300人 (予定)	100,000円
	アーティスト・イン・レジデンス 2019-港をつなぐ	・八戸港と姉妹港であるフリピン・マニラからアーティストを招き、リサーチ・制作・ワークショップ等を実施する。 ・海外アーティストとの交流や創作活動を通じ、中高生や大学生をはじめ市民による文化的活動の機運醸成を図る。	5/1～3/31	八戸工業大学、はっち 他	200人 (予定)	100,000円